

〔手順1〕販売管理費を固定費と変動費に分解する。

勘定科目		総額 (円)	固定費 (円)	変動費 (円)	準変動費 (円)	摘要
販売管理費	販売員給料					
	荷造運賃					
	保管料					
	広告宣伝費					
	支払手数料					
	貸倒損失					
	雑費					
	その他					
	役員報酬					
	事務員給料					
	福利厚生費					
	退職給与引当金					
	修繕費					
	事務用品費					
	旅費交通費					
	通信費					
	接待交際費					
	利息割引料					
	地代家賃					
	減価償却費					
租税公課						
保険料						
雑費						
その他						
合計		円	円	円	円	

〔手順2〕製造費用を固定費と変動費に分類する。

勘定科目		総額 (円)	固定費 (円)	変動費 (円)	準変動費 (円)	摘要	
直接材料費	材料費						
	買入部品費						
	その他						
	直接労務費						
	特別費	外注工賃					
		型代					
		特許権料					
		設計費					
	その他						
	間接材料費	補助材料費					
		消耗器具費					
		消耗品費					
		直接工間接賃金					
	間接労務費	間接工賃金					
		休業手当					
		給料					
		賞与手当					
	間接費用	退職給与引当金					
		その他					
		福利厚生費					
減価償却費							
間接経費	賃借料						
	保険料						
	修繕費						
	電力料						
経費	ガス料						
	棚卸減耗損						
	水道料						
	試験研究費						
雑費	雑費						
	その他						
合計		円	円	円	円		

() 中間的費目は一応変動費としておき、さらに固定費と変動費に分解する。

次の要領で固定費と変動費に分解することができる。

- 要素分解法：労務費など固定給は固定費、残業手当、出来高給は変動費とする。
- 定額控除法：水道光熱費、動力費などの基本料は固定費、その他は変動費とする。
- 比率按分法：福利厚生費など付加給付は、給料賃金と同じ割合で按分する。
- 折半法：雑費などは2分の1に分ける。
- みなす法：固定費に近いものは固定費、変動費に近いものは変動費とする。